

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	自主事業運営費							
担 当 課 係 名	市民会館	課	-	係	作成者	船山 睦		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材育成を育む教育文化のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
	主要施策	社会教育活動の充実				96		
予 算 費 目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等								
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民(市外者含む)
事業の目的・意図 （どういう状態に したいのか）	市民のニーズにあった事業を取り入れ、地域に密着した事業を実施してまいりたい
事業の内容 （どのような業務、 活動を行うのか）	芸術鑑賞の機会を増やし、市民文化振興につながる事業を目指す。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	自主事業数	目標	回	2	3	1	
			実績	回	2	3	1	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	自主事業入場者数	目標	人	1,200	1,800	600	
			実績	人	1,459	1,663	984	
			達成度	%	121.6%	92.4%	164.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,780	1,817	176	
	人 件 費 (B)		—		3,141	3,228	238	
	財源内訳	職 員 数		—		0.40	0.40	0.03
		職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925
		(A) + (B) 投下コスト				4,921	5,045	414
		財源内訳	国 庫 支 出 金					
	県 支 出 金							
	地 方 債							
	そ の 他							
	一 般 財 源				4,921	5,045	414	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		2,460,500	1,681,667	414,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		154	160	13	

【事務事業の今までの成果】

年間1本～2本のペースで自主事業を実施してきたが、満席になったことは数えるほどで、いつも集客に頭をいためてきた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	今後は、芸術鑑賞の機会を増やすことで市民の文化振興につなげることも大切であるが、地域に密着した事業に取り組んでいかなければならない。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

今後は、芸術鑑賞の機会を増やすことで市民の文化振興につなげることも大切であるが、地域に密着した事業に取り組んでいかなければならない。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	市民のニーズを捉えた魅力ある事業の選定と、周知・広報への積極的な取組が求められると考えます。

一次評価診断図

